

議会だより **せら**



第65回甲山駅伝競走大会

駅伝シーズン 到来!

■今号の主な記事

- 年頭のごあいさつ…………… 2
- 議会構成表…………… 3
- 新体制による初議会…………… 4~5
- 委員会は 今…………… 6~7
- ズバリ **町政の課題** 13議員29問を質す …… 10~23

No.48 平成29年1月13日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行/広島県世羅町議会 編集/議会広報広聴調査特別委員会

年頭のごあいさつ



議長
徳光 義昭

新年あけましておめでとうございます。

平成29年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。平素は、町議会に対し、各別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年11月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により不肖私徳光が栄ある議会議長に選任を賜りました。

もとより浅学非才であります。町の発展と住民福祉の向上を目指し、鋭意努力をしております。

今回、初当選されました議員の顔ぶれは、○若人の政治参画の代表者として、○行政経験の豊富なスペシャリス

ト、○民間企業の経営者 など多才な人材が誕生され、政策提案など活発な議会・議員活動が期待されております。

今後の議会運営は、14人の全議員が議会基本条例に基づいて「開かれた、わかりやすい議会」、「町民に信頼される議会」を行っていくべきものと考えており、その先頭に立って「チーム世羅町議会」をけん引できるよう取り組んで参る所存であります。

また、この度二期目の奥田町政に期待をいたすところであります。町長一期目の公約とし掲げ実現できなかった「多目的グラウンド」、「産業団地の整備」につきましては、将来の町づくりにとって重要な施策であり、有利な財源を確保し実現に向け積極的な取り組みを熱望するところであります。

そして、町内の現状課題としては、「イノシシ・シカの被害防止と個体数減少策」、「空き家の活用と対策」、「若者の就労場所の確保」等が喫緊に対処すべきものと考えており、今後議会といたしましても解決に向け取り組んで参ります。

新しい年が皆様にとりまして幸多い年になりますことをご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。



副議長
下原 嘉雄

新年あけましておめでとうございます。

昨年の第3回臨時会において、副議長に就任し、任務の重さを痛感しております。

同時に、議長を支えながら山積する課題に取り組み、現状から一步でも二歩でも前進するよう努力致します。特に、町民の皆様が開かれた議会、議会からの提案、課題解決など、町民の皆様が町政に携わってみたいと思われる議会となるよう自己を含め研鑽してゆく所存でございます。

この一年が皆様にとりまして、幸福な年でありますよう心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶といたします。

世羅町議会構成表 平成28年11月14日現在

正副議長

議長	徳光 義昭
副議長	下原 嘉雄

監査委員

監査委員	新原 浩
------	------

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

名称	人数	委員長・副委員長・委員							
総務文教 常任委員会	7	委員長	米重 典子	副委員長	久保 正道	委員	福田 義人 山田 睦浩 新原 浩	高橋 公時 矢山 武	
産業建設 常任委員会	7	委員長	盛谷 光明	副委員長	藤井 照憲	委員	重森 博之 實久 誠 徳光 義昭	生田 智康 下原 嘉雄	
議会運営 委員会	6	委員長	生田 智康	副委員長	藤井 照憲	委員	米重 典子 盛谷 光明	山田 睦浩 久保 正道	

特別委員会

名称	人数	委員長・副委員長・委員							
議会広報 広聴調査 特別委員会	6	委員長	米重 典子	副委員長	新原 浩	委員	高橋 公時 久保 正道	山田 睦浩 藤井 照憲	
議会改革調査 特別委員会	13	委員長	下原 嘉雄	副委員長	久保 正道	委員	福田 義人 米重 典子 山田 睦浩 矢山 武 生田 智康 實久 誠	重森 博之 高橋 公時 盛谷 光明 新原 浩 藤井 照憲	

一部事務組合議会

名称	選出方法	人数	議員名
三原広域市町村圏事務組合議会	選挙	3	徳光 義昭・矢山 武・藤井 照憲
世羅三原斎場組合議会	あて職・選挙	5	徳光 義昭・重森 博之・盛谷 光明・生田 智康 實久 誠
世羅中央病院企業団議会	あて職・選挙	4	徳光 義昭・福田 義人・米重 典子・盛谷 光明
広島中部台地土地 改良施設管理組合議会	あて職・選挙	4	徳光 義昭・高橋 公時・山田 睦浩・久保 正道
甲世衛生組合議会	あて職・選挙	4	徳光 義昭・新原 浩・實久 誠・下原 嘉雄
後期高齢者医療広域連合議会	選挙	1	福田 義人

初議会開会

平成28年第4回定例会

平成28年第4回定例会を12月6日から16日まで開会した。

一般質問は、13人全員が29項目にわたり施政を質し、議案14件、報告1件、同意1件、陳情4件、発議4件を審議した。

せら香遊ランド 指定管理者選定

せら香遊ランドの指定管理者に株式会社geren handを選定することを可決した。
指定管理期間は、平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間。



世羅町印鑑の登録及び証明 に関する条例の一部改正

住民サービスの向上を目的として、個人番号カードを利用したコンビニでの多機能端末機による印鑑登録証明書等の交付を可能とする整備を行うことに伴い、条例の一部を改正した。サービス開始は、平成29年3月6日から。

世羅町職員の勤務時間、休 暇等に関する条例及び給与 に関する条例の一部改正

人事院勧告に準じて育児・介護制度に関する改

新体制による

正と給与の改定を行うため、それぞれの条例の一部を改正した。

教育長任命同意

教育長に松浦ゆう子氏

平成29年2月の時永益徳教育長任期満了に伴う新教育長任命について、賛成多数で松浦ゆう子氏の任命に同意した。

任期は平成29年2月3日から3年間。

第3回臨時会

議長に徳光義昭氏
副議長に下原嘉雄氏

11月9日に開会した第3回臨時会で、議長及び副議長の選挙を行い、議長に徳光義昭議員、副議長に下原嘉雄議員を選任した。

常任委員会・特別委員会等の委員会構成は、3ページの構成表のとおり。

第4回臨時会

副町長に海見裕嗣氏

11月14日に開会した第4回臨時会で、副町長選任同意の投票を行い、賛成多数で海見裕嗣氏の選任に同意した。

任期は平成28年11月19日から4年間。

選挙管理委員・補充員 選挙結果(指名推選)

選挙管理委員

補充員

原田 洋治氏 上中谷 洋子氏

中門出 幸雄氏 奥田 敏昭氏

升本 悟氏 森 祐志氏

金尾 央公氏 古川 アイ子氏

任期は平成28年12月24日から4年間。

報告します 委員会は 今



社会福祉協議会での調査風景

地域医療を考える集い開催

総務文教常任委員会

現地調査

社会福祉協議会

平成28年4月から新

しい介護予防・生活支援サービス事業「通所型サービス」の居場所づくりがスタート。平成27年度から町の

補助事業として、「介護ボランティア養成講座」を開催している。今後は、家事援助を中心とした研修内容から、身体介護を想定した研修も必要と考えられる。

介護人材の確保と育成を目的として、町内施設との協働で介護職員初任者研修に取り組んでいる。

福祉サービス利用や金銭管理などで困っている人に、福祉サービス利用援助事業「かけはし」がある。今後利用増加が見込まれ、生活支援員の確保が急がれる。

事務調査

①介護保険事業の現状と今後の見通し

※1号被保険者数では、75歳以上の人口は減少、65歳から74歳が若干増加。

認定者数は、平成26年度に比べて平成27年度は若干減少、要介護1が増加傾向にある。

今後は地域支援、地域包括ケアシステムが重要となる。平成30年度からの第7期計画は、アンケートなど十分調査し施策に反映したい。

②「地域医療を考える集い」について

「住民が地域の医療を守り育てる」という意識啓発を目的として、平成25年度から開催。第1回「地域医療の課題と方向性」、第2回「地域医療と世羅中央病院の役割」、第3回「地域が守る医療」という内容で講演とパネルディスカッションを行っている。今年度は「助け合いの地域医療をめざして」をテーマに、議会も共催し平

成29年1月22日に開催する。

③ふるさと納税の今年度の状況

11月末現在、寄付件数344件で昨年を80件上回り、金額累計は856万円。

返礼品の充実に取り組むとともに、6月からクレジット決済を導入し順調に伸びている。今後もカタログや町のPRをより一層充実させる取り組みを進める。

④マイナンバー制度の進捗状況

平成28年4月から運用開始、11月末のマイナンバーカード交付状況は、1088枚。

カード利用による各種証明書類のコンビニ交付事業は、平成29年3月6日からサービスを開始する。

※1号被保険者は65歳以上の人

町内全域ゴミステーション化へ

産業建設常任委員会

現地調査

①道の駅世羅

本年10月から支払方法にカード決済を導入した効果として、客単価が大幅アップした。

観光協会特有の利点を活かし、様々なイベントを開催する。また、新しい取り組みを発信し、地域の人の利用促進を図る。

②県道府中世羅三和線 魚切溪谷



東地区「魚切溪谷」

①道の駅世羅について

事務調査

魚切溪谷は、東自治会が看板などを整備し、写真撮影会などイベントを開催している。現在、町として観光整備の計画はない。隣接する県道府中世羅三和線の整備は、県との協議になる。ボランティア活動を支援する事業の活用も考えられる。

今年度中国地方の

「道の駅めぐりランキング」で6位となり、県内で唯一ベスト10に入った。インフォメーション機能としては、スタッフが観光施設や直売所の案内を行っている。スタッフの知識向上やインターネット環境の整備をはかり、利用者により良い情報発信ができるよう努めている。

②産業団地整備について

都市計画マスタープランに整備計画があり、現在調査中である。事業費については、国などからの補助金や交付金を受けるための手続きなど調査を行っている段階。

③道路維持管理について

道路維持管理については、年間で管理委託

契約をしている。側溝の落ち葉除去については、基本的には住民要望を聞き、町が指示し実施している。

④ごみ収集事業について
①ごみ収集ステーション設置の進捗状況
戸別収集解消のためのステーション整備は、現在設置されている。

る近隣のステーションへの統合か新設での対応を考えている。本年度は設置整備20基分を予算化、現在7件の整備が進んでいる。サービスの公平性の観点から町全域ステーション化となるよう整備したい。

資源化ごみは収集後、三原広域市町村圏事務組合の不燃物処理工場に搬入、処理し、資源化による収入は処理費用に充当される。古紙回収については、古紙等資源集団回収奨励事業により、集団回収に対して奨励金を出している。

議会報告会のあり方は

議会改革調査特別委員会

事務調査

議会報告会に関する

今後の進め方について改選前の委員会での取り組みを総括したものを参考に調査した。

①議会報告会は、議会

基本条例に基づき実施すべき事項であることを確認

(1) 参加を促進するため
の研究が必要。

(2) 議員個人の見解の扱いについて検討が必要。
(3) テーマの設定は、自治センターごとにするかは次回の検討課題。

②改選前の委員会で総括した事項に関する意見

(1) 一般質問の方法は継続して研究する。
(2) 公聴会、参考人制度の活用による委員会機能の充実に積極的に取

り組む。
(3) 議員定数の削減、議員報酬の増額、政務活動費については今後検討する。
(4) 人権研修は6月・12月定例会の委員会で実施する。
(5) 議員研修機会の充実

は、*JIAAMなどの受講促進と併せ、議会活動に役立つ独自の研修実施に取り組む。

* JIAM (全国市町村国際文化研究所)：全国の自治体を担う人材の育成を行う総合的研修機関。

請願・陳情を審査しました

4件の請願陳情審査を行い、採択3件、一部採択1件となりました。

番号	件名	請願・陳情者	委員会の意見	審査結果
10	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求める陳情書	広島県医療労働組合連合会 執行委員長 桜井 和春	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
11	国民健康保険の改善に向けた陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 八幡 直美	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
12	介護保険の給付縮小・利用者負担増の中止、介護保障の充実を求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 八幡 直美	要望の趣旨は、妥当と考える。	採 択
13	世羅町指定家庭ごみ委託収集業者に関する要望書	世羅町の生活・くらし・観光を考える会 代表者 藤原 和夫	一部は、議会の権限に属さないため認められないが、公平な基準を考慮することを期待し、一部採択とした。	一部採択

陳情第13号

世羅町指定家庭ごみ委託収集業者に関する要望書に対する討論

反対

矢山 武

ごみ収集業務の問題点については当然改善をはかるべきだが、現在も積算根拠に基づいて契約しており、安定的に業務が継続されているので今回の要望については不採択とすべきである。

賛成

藤井 照憲

今回の陳情内容は、現在の制度について実態調査の中から、しっかりと見直してほしいというものであり、妥当であると考えている。

提出議案等の採決結果

第3回世羅町議会臨時会（平成28年11月9日）

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
発議第5号	議会広報広聴調査特別委員会の設置について	可決	発議第6号	議会改革調査特別委員会の設置について	可決

第4回世羅町議会臨時会（平成28年11月14日）

（賛成が多数で同意したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
同意第3号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	同意第4号	世羅町副町長の選任につき同意を求めることについて	同意

第4回世羅町議会定例会（平成28年12月）

（賛成が多数で同意したもの）

議案番号	提出議案	採決
同意第5号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提出議案	採決	福田	重森	米重	高橋	山田	盛谷	矢山	久保	新原	生田	藤井	實久	下原
議案第88号	平成28年度公共下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
陳情第13号	世羅町指定家庭ごみ委託収集業者に関する要望書	一部採択	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決	議案番号	提出議案	採決
議案第75号	世羅町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案第86号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第76号	世羅町自治センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	議案第87号	平成28年度上水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第77号	世羅町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	陳情第10号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情書	採択
議案第78号	世羅町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	陳情第11号	国民健康保険の改善に向けた陳情書	採択
議案第79号	世羅町新規就農者育成資金貸付条例の一部を改正する条例	可決	陳情第12号	介護保険の給付縮小・利用者負担増の中止、介護保障の充実を求める陳情書	採択
議案第80号	せら香遊ランドの指定管理者の選定について	可決	発議第7号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書提出について	可決
議案第81号	平成28年度一般会計補正予算(第6号)	可決	発議第8号	住民の健康の維持・増進に向けて国民健康保険制度の改善を求める意見書提出について	可決
議案第82号	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	発議第9号	介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書提出について	可決
議案第83号	平成28年度後期高齢者医療制度特別会計補正予算(第2号)	可決	発議第10号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出について	可決
議案第84号	平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決			
議案第85号	平成28年度介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	可決			

町政の課題

13議員29問を^{ただ}質す

ページ	質問者	質問事項
11	下原 嘉雄 議員	1. 里山応援団の輪を広げるには 2. 空き家実態調査結果と対策は
12	實久 誠 議員	1. 議員定数の削減について 2. 議員報酬の増額について 3. 役場へのクレーム等の対応について
13	米重 典子 議員	1. 世羅町国民健康保険データヘルス計画について 2. 発達障害児支援の取り組みについて
14	矢山 武 議員	1. 今年の米の作況と今後の農業対策は 2. 防災行政無線の利用開始と運営は 3. 下水道整備計画と432バイパス周辺の延長を早く
15	新原 浩 議員	1. 多目的スポーツ施設整備について 2. 遊休公共施設等の活用について
16	福田 義人 議員	1. 奥田町政「次世代に繋ぐPart2」を問う 2. 期待される有害鳥獣対策を
17	高橋 公時 議員	1. 観光地「世羅」として新たな取り組みは 2. 若年層の町外流出を食い止める対策は
18	山田 睦浩 議員	1. 放課後児童クラブのその後の動向、現状について 2. 早急な学校トイレ洋式化を
19	盛谷 光明 議員	1. 草刈り支援対策は 2. 健康マイレージの取り組み
20	藤井 照憲 議員	1. 安全安心づくり（広域道路網の整備促進） 2. ものづくり（就農促進・圃場整備） 3. 人づくり（女性の管理職登用）
21	重森 博之 議員	1. 道の駅世羅を観光にどう生かすのか
22	生田 智康 議員	1. 元気なせら町経済を目指して 2. 元気なせら町農業を目指して
23	久保 正道 議員	1. 次世代に繋ぐPart2をどう進められるのか伺う 2. 平成29年度当初予算編成方針を伺う 3. 鳥獣被害対策における狩猟及び駆除の環境改善について

美しい里山保全の輪を広げるには

答 ひろしまさとやま未来博などを活用する



下原 嘉雄 議員

町長

県民参加型プロジェクト「ひろしまさとやま未来博2017」により、更なる活性化と中山間地域の価値や魅力を地域内外にPRする。

里山の整備は美化作業を行い健康増進に役立て、山が育む森林資源や地下水、生態系の保護にも目を向け、次世代へ繋げる。

清掃活動、マナー啓発など環境保全につとめ、同時に活動を通して移住促進策となる。

行政は、地元住民管理団体が広く活用する多面的機能整備補助金で支援する。

竹林整備の竹チップパー導入補助金は、次年度も継続取り組みとする。

下原

県では中山間地域をフィールドに「ひろしまさとやま未来博2017」が計画されている。この間に、町民と一体となって美しい里山の保全のために、地元主体のボランティア「里山、里地協力隊」を公募し、里山を整備しては。また、国の政策として、森林・山村多面的機能整備補助金の次の助成策はどのようなになるか。竹林整備の竹チップパー導入について、経過は。



手入れが必要な里山

空き家実態調査

結果と対策は

答 調査結果により

所有者を指導

下原

現在実施中の空き家実態調査で、危険と言われる特定空き家はどれほどあったのか。

- ① 長期間住んでいない家屋でも個人財産である以上、所有者にしか対策は講じられない。条例の範囲では限界がある。
- ② 条例では「空き家」とは空き家バンクに登録されているとある。行政が取り組むには、「空き家バンク」に登録が必須条件となり、そこから各種施策、補助金が成立する。

町長

調査結果を得て、危険度、景観の保持、生活環境の保全、放置状態が不適切かなどを判断し、特定空き家に該当する建物には、持ち主に指導を行う。

議員定数の削減は

答 次回の選挙までには一定の結論を出すべきと考えている



實久 誠 議員

町長
定数については、議会議員の中で議論を深めて頂くとともに、町民との検討の場を作っていたいただき、しっかりと議論をした上で、次回の選挙までには一定の結論を出すべきであると考えている。

實久
財政がひっ迫し、行政改革の観点から議会予算も削減する必要がある。人口が減少しているので、議員定数、議会改革による議会予算の削減を第一に考えなければならぬ。

町長
町村議会の議員報酬の全国平均額は約21万円で、生活給として見られる額には達していない。世羅町議会の議員には、政務活動費の支給がなく、特別職報酬等審議会に諮問を行い、議員報酬を設定する必要がある。

實久
定数削減と報酬増額を同時に行えば、議会予算の総額は変えず、定数削減の原資を議員報酬の増額分に回すことで、財政支出への影響なく無風選挙の改革ができる妙案と考える。議会費に対する地方交付税措置にも影響はなく、更には、40代前後の子育て世代の方が議員として立候補できる報酬額が必要と考える。

議員報酬の増額は特別職報酬等審議会に諮問し、設定する必要がある

役場へのクレームなどの対応は

答 研修を重ね職員の資質向上を図る

町長
接遇研修を受けただけでは、すべての職員が適切な対応ができる訳ではなく、各種研修の受講を推進し、組織及び職員として資質の向上を図っていききたい。

實久
平成27年3月に世羅町議会議員による障害者に対する人権侵害の発言があり、議会が辞職勧告決議をされたが、その場に居合わせた職員は課長職の職員であり、公正で公平な行政事務を推進するためには、町職員が高い人権感覚・意識を持ち、事務を行う必要があると思う。いつの間にか、うやむやにされてしまった。公人の差別発言が、いまだに反省の態度すら見受けられず、障害者の敵であり、世羅町の恥でもあるが、障害者に対する挑戦だと受け止め、全国の障害者に対して謝罪を求める。



カウンター内には個人情報

世羅町国民健康保険 データヘルス計画とは

答 事業実施により医療費削減
健康寿命延伸に努める



米重 典子 議員

米重

世羅町国民健康保険データヘルス計画
について問う。

- ① この計画の事業目的
- ② 事業の内容と期待される効果
- ③ 町の医療費の状況
- ④ 健診の受診状況と受診率向上への取り組み
- ⑤ シェネリック医薬品の普及状況と医療費削減効果

町長

① 健康診査結果や診療報酬明細書などから得られる情報から健康状態や健康課題を明確にし、事業内容を企画することを目的としている。

- ② 事業内容は、①健康診査・特定保健指導、②健診異常値放置者受診勧奨、③糖尿病性腎症重症化予防、④受診行動適正化指導、⑤シェネリック医薬品差額通知、⑥生活習慣病予防・健康増進事業
- 期待される効果は、各事業の実施により医療費の抑制と健康寿命の延伸が考えられる。
- ③ 平成26年に若干減少したが、それ以降は増加傾向にある。
- ④ 平成27年度特定健診受診率43・1%、がん検診26・6%。電話による受診勧奨、地域行事での呼びかけ、健康講座での啓発など行っている。
- ⑤ 平成28年4月で57%、平成23年以降約4900万円の削減効果が見込まれる。

発達障害児支援の取り組みは

答 切れ目のない支援と正しい理解
のための啓発を

米重

就学前の発達障害児
への支援について問う。

- ① 早期発見と実態把握
- ② 福山発達支援センターの利用状況
- ③ 児童発達支援事業所の利用状況と行政との連携
- ④ 療育支援事業の取り組み
- ⑤ 家族支援の取り組み



児童発達支援事業所すずらん

町長

- ① 生後4カ月までに家庭訪問を実施、情報提供や保健指導を行い、乳児健診や就学前調査での実態把握により関係機関と情報共有している。
- ② 年々増加傾向にあり、平成27年は延べ78人の利用。
- ③ 町内外の事業所併せて21人が利用、福祉課、子育て支援課との個別ケース会議を行っている。
- ④ 児童の年齢に応じたプログラムによる親子教室の開催、利用負担金や交通費の助成。
- ⑤ 各機関の相談員が状況に応じて助言している。



矢山 武 議員

米の作況と農業対策は

答 農業振興ビジョンを見直し施策を検討する

矢山 今年の米の作況はどうか。米価安で、今後の米作りの不安がある。TPP批准が強行され、構造改革、農協つぶしを進めようとしている。戸別所得補償を復活し、農家を守る必要がある。地域を守り後継者の育つ支援を。

町長 作況は、昨年より23kg増の530kgである。収穫期の雨やイノシシ被害で収量低下があった。捕獲を強化する。農業振興ビジョンを見直し施策を検討する。

答 防災行政無線の利用と運営は
放送は平成29年5月より一部開始し、屋外スピーカは37箇所設置

矢山 防災行政無線の整備計画は
①一戸二世帯の取り扱いはどうなるか。
②施設整備費と運営費のJAとの負担割合はどうするか。
③屋外スピーカ位置と利用開始は。デジタル無線化を町民へ説明を求める。

町長 平成30年2月末工期予定で、関係機関との協議を行い工事に着手する。
①住民基本台帳に登録の世帯主へ一台を無償設置する。
②JAとの負担割合については、JAの放送に係る設備整備費用は負担を求め、年間放送件数を基準に調整する。
③屋外スピーカは37箇所を予定する。平成29年5月から放送開始予定で、アナログとの併用期間を設ける。行政情報、緊急情報を迅速かつ確実に届けるため、早期の運用開始と広報に努める。

公共下水道の整備と運営状況は

答 早期完了をめざし計画的な工事を

矢山 当初計画より、大幅な遅れと収支も下回っている。432号線パイパス周辺の下水道幹線延長を早急に行う必要があり、住民への説明と完成が求められる。汲み取りし尿、汚泥と一体的な管理運営はできないか。下水道整備の考え方を聞く。

町長 平成27年度に第3回変更を行い、全体計画106haに対し69haが整備完了、公共ます設置数450個に対し237個の接続である。下水道幹線の設計を今年度行い、早期着工したい。処理施設の形態が違うため、一体的な管理運営はむずかしい。積極的な普及促進を行い、効率的な経営に努める。

多目的スポーツ施設整備は

答 有識者など多くの意見を踏まえ、協議を進める



新原 浩 議員

町長 政策提言のなかに表示している多目的施設の整備は「安全安心づくり」・「健幸づくり」における、スポーツ振興と健康づくりを目的に、災害時機能活用を含め協議を進める。

今後は、財政計画も含めて長期総合計画・過疎計画のなかに盛り込み、有識者による委員会を設置し、早急に決めるのではなく、町にとってどんなものが必要であるか、町民の方々にしっかりと示しながら協議し確実に進めていきたい。

新原 町長の政策提言書の中に、多目的施設をスポーツ振興と合わせて整備すると示されたが、これらに対してどのように取り組むのか。



(イメージ) みよし運動公園広場

町長 観光施設全般については、老朽化に伴う維持費用の拡大、魅力の喪失が課題である。

今年度観光施設のリニューアル検討を進め、各施設ごとの特徴や課題を整理し、費用対効果の視点を踏まえ適切な判断を行う。

新原 町の観光施設は建設から20〜30年経過し、老朽化が進んでいる。老朽観光施設に対してどう取り組むのか。

遊休観光施設などの活用は

答 観光施設の

リニューアル

検討する

奥田町政「次世代に繋ぐ Part2」を問う

【答】第2次長期総合計画実現に向けて取り組む



福田 義人 議員

福田
少子高齢化が進む中、周辺地域では高齢化率50%を超えている。奥田町政2期目の政策について問う。



「歴史と伝統文化の町」としての発展を

町長

「次世代に繋ぐパート2」の主なものは、「健康づくり」の課題として地域包括ケアプランの構築であり、現場の声を生かし推進する。子育て支援の強化に向け、妊娠から出産までワンストップで取り組む。
「ものづくり」については、世羅ブランド戦略を立ち上げ高収益商品の開発に取り組む。雇用の創出については、新たな産業団地の計画を推進する。
「安全・安心づくり」は多くの要望があり、危険箇所や狭隘なところから道路整備を行う。
「地域づくり」の推進は、若い方々の意見を吸収し支援を行う。
これ以外にも将来的に有効である事業は今後もアイデアを示し「まち・ひと・しごと戦略」の事業と重ねて進めていく。

効果的な有害鳥獣対策を

【答】実施隊と調整し通年対策を検討する

福田
抜本的な鳥獣被害の防止には、1年を通じた個体数の削減が必要である。
併せて、食肉処理場の早期建設と専門部署の設置について問う。

町長

通年の駆除期間の設定は、鳥獣被害対策実施隊と調整し検討する。
食肉処理場建設は、実施隊との協議や候補地選定など協議中であり、早期実現を目指す。専門部署の在り方は、今後も検討する。



高橋 公時 議員

観光地『世羅』として新たな取り組みは

答 受入れ団体との協議を行う

高橋

第2次長期総合計画の住民アンケートに「県内外から多くの観光客が訪れ賑わまち」にとの声が多数あり、教育の観点からの産業観光振興と捉え、世羅町でも新たな取り組みを考えてはどうか。

- ① 修学旅行の「農家体験民泊」の受入れを
- ② 「山・海・島体験活動」の受入れを

町長

① 現在のところ「民泊」の修学旅行の受入れについては検討していない。

② 教育体験活動としての児童への体験活動メニューや3泊4日の長期集団宿泊活動は、安心安全に提供できる施設的・人的な体制の確保を検討する中で、受入れ団体との協議を行う予定である。

「山・海・島」体験活動
「ひろしま全県展開プロジェクト」
に係る事務等の手引き
【平成28年度版】

子どもの豊かな心を育てる

「山・海・島」
体験活動

「ひろしま全県展開プロジェクト」

ひろしま全県展開プロジェクト

若年層の町外流出を食い止めるには

答 財政事情も勘案しながら見定める

高橋

「世羅町まち・ひと・しごと」創生人口ビジョンによる転出者数を理由別にみると「就職」と「婚姻関係」が多くなっている。

児童数の少ない小学校区のせらし地区・せらひがし地区に買取型一戸建て町営住宅を計画し、定住に向けた取り組みを考えているが、住宅建設の考えを問う。

町長

町周辺部への町営住宅建設については、建設に伴う費用に加えて、管理費用も新たに必要となるため、町営住宅入居の応募状況や、町の財政事情も勘案しながら、今後の方向性を見定める必要がある。



一戸建て町営住宅を

放課後児童クラブの動向、現状は



山田 睦浩 議員

答 平成31年度までに
小学6年生まで拡大する

町長

①町内4か所で実施、甲山地区44人（せらひがし小学校含む）、世羅地区70人、世羅西地区25人が登録している。
②世羅町子ども子育て支援事業計画では、平成31年度までに小学6年生まで拡大する。
③今後とも関係機関と連携し、必要な施設の整備・人材の確保を図り、児童の居場所の拡大に向けて取り組む。

山田

放課後児童クラブは、現在4年生までとなっているが、全学年を受入れ対象として、利用時間の延長を問う。
①町内の利用状況
②対象を6年生まで拡大してはどうか
③利用時間の延長について

教育長

①町内小・中学校合わせて258個の便器があり、洋式便器は74個で28・7%である。
②アンケートは実施していない。
③学校施設の新築改築の際、身障者対応多目的トイレとして洋式トイレを整備している。
④施設の老朽化及び児童生徒や保護者からのニーズへの対応として洋式便器への転換を順次行い、洋式化率の低い学校を優先的に、他の施設整備との財政的バランスを考慮し、随時整備を進める。

山田

文部科学省が初めて実施した、公立学校のトイレに関する全国調査では、洋式便器は43%にとどまり、子どもからは「使いづらい」との声がでているにもかかわらず、改修が進んでいない
①町内小・中学校の状況は
②児童生徒・家庭へのアンケートの実施は
③町の取り組みは
④今後の対応は

学校トイレ洋式化を早急に

答 老朽化、洋式化率の低い学校を優先的に整備改修する



求められる洋式トイレ

センチピードグラスの普及は

答実績を検証し検討・推進する



盛谷 光明 議員

町長 農道・水田畔の管理省力化には、中山間地直接支払交付金や多面的機能支払交付金の活用を継続して推進したい。町道法面については、施工費用軽減の方策や施工後の管理方法など、更に検証し検討したい。

盛谷 草刈り支援対策として3年前からセンチピードグラスを試験植え付けし、好評を得た。多数の取り組み要望を受けているが、補助対象とならないか。



センチピードグラス（別名：ムカデ芝）の植え付け状況

町長 広島県では、平成29年3月から18歳以上の県民を対象に「（仮称）広島県ヘルスケアポイント制度」を開始する予定であり、この制度への参加を検討しながら健康づくりを推進する。

盛谷 健康診断の受診やスポーツ活動参加などで、ポイントを貯めて特典を利用できる「健康マイレージ」の取り組みは、医療費や介護費の抑制、健康増進への啓発が期待できる。具体的な考えを問う。

答 県の制度への参加を検討する
健康マイレージの取り組みは

広域道路網の整備促進は

答 早期事業着手に向け、県や国へ要望する



藤井 照憲 議員

藤井
幹線道路の整備に関わる課題として、広域ネットワーク向上に係る建設要望の状況は。

町長
現在、関係市町で構成する協議会で要望を行っている。引き続き、経済活動などへの早期の効果出現に向けた取り組みを推進する。

藤井
道の駅世羅の活用策をどのようにするのか。

町長
道の駅世羅は、観光協会と連携し、地域交流や情報発信に資する取り組みを推進する。

地域農業の持続と活性化をどうするのか

答 関係機関と連携し

取り組む

藤井
高齢化・過疎化の進行により、担い手が減少し、地域農業の持続と活性化を図るため、
①耕作放棄地の発生防止をどうするのか。
②有害鳥獣駆除に係る経費負担軽減策は。
③6次産業化の推進をどう支援するのか。

町長
①農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積を実施する。
②免許取得講習会受講料の全額免除や若者ハンター育成に努める。
③世羅高原6次産業ネットワークを中心に連携を図り、世羅ブランドの開発をめざす。

男女共同参画社会の形成は

答 女性活躍社会の実現をめざす

藤井
①男女共同参画社会の形成に係る「はんぶんこプラン推進会議」の取り組みと推進策について。
②女性管理職の登用を推進するのか。
③ワーク・ライフ・バランスの企業などへの働きかけ及び対策はどうか。

町長
①はんぶんこプラン推進会議と歩調を合わせ、第2次世羅町男女共同参画行動計画を推進する。
②人材育成を進め、職場配置や登用機会を確保する。
③世羅町商工会との緊密な連携のもと、ワーク・ライフ・バランスの実現に努める。

道の駅世羅を観光にどう生かすか

答 歴史観光のあり方も含め
課題として認識



重森 博之 議員

町長

- ① 町内における創業、事業承継、販売拡大及び設備投資など、事業の様々な局面に応じた支援策を強化する。町商工会と連携し、今後も商工会員事業者への支援を中心に、町内商工業の振興を図っていきたい。
- ② 道の駅世羅へ歴史観光コーナーを設置するにはスペース的に困難である。観光協会の職員が観光*コンシェルジュとして、町内の観光施設などを案内し、町内周遊を促している。
- ③ 道の駅世羅では、観光協会が中心となり様々な駅伝関係の取り組みが行われている。平成27年12月には、全国高校駅伝競走大会での活躍を応援するパブリックビューイングの実施や懸垂幕の掲揚を始め、駅伝シーズンには、町内の機運を盛り上げている。

重森

- ① 今高野山、大田庄歴史館を含め、商店街の活性化を考えてはどうか。
- ② 道の駅世羅に、歴史観光コーナーを考えてはどうか。
- ③ 世羅高校の駅伝を町の活性化に結び付けてはどうか。



これからの道の駅世羅は

*案内係

元気なせら町経済を目指して

答 炎の3点セットの提案は実現の可能性を探りたい



生田 智康 議員

- 町長**
- ① 世羅インターチェンジ付近を考えている。1ha当たり約3億円程度の事業費を見込んでいる。
 - ② 指定管理施設の管理者などと協議して、実現の可能性を探りたい。
 - ③ 県外への派遣は、費用面から考えていないが、ふるさとPR大使を任命し、様々な機会を通じ、町のPRを図りたい。
 - ④ 全国発信できる町のPR方法とは考えるが、他に安価で宣伝効果が高いPRを図りたい。

- 生田**
- ① 産業団地の整備は
 - ② 滞在型観光の手段として炎の3点セット（まきストーブ・釜炊きこはん・五衛門風呂）を
 - ③ 役場若手職員を県外セールスに派遣しては
 - ④ NHKにCMを（大相撲懸賞旗）



まきストーブの炎で癒しを

元気なせら町農業を目指して

答 イノシシ・シカの解体処理場は、急務と考える

- 生田**
- ① イノシシ・シカの専門部署はどうする。シビ工料理で町おこしは。
 - ② 農産物のブランド化はどうするのか。
 - ③ ミラサポ（未来サポート）を活用しては。

- 町長**
- ① 再度、担当部署の取り組みを検証し、体制作りを検討している。町おこしも含め、捕獲頭数の拡大につながるのを推進したい。
 - ② 世羅ブランド戦略会議のメンバーと「ブランド戦略」を策定している。年明けに設立予定の「ブランド農産物研究会」の中で特色ある農産物づくりを進め、生産者に還元できる販売の仕組みを構築したい。
 - ③ 世羅町商工会が相談事業の中で、ミラサポなど有益な情報を提供し、補助事業の活用を図られている。

※中小企業庁が平成25年に立ち上げた中小企業者、小規模事業者の未来をサポートするサイト。

次世代に繋ぐ Part2 をどう進めるのか

答 政策を毎年検証しながら進めたい



久保 正道 議員



人権研修会の様子

町長

- ① 病院機能として地域包括ケアの構築や、医師不足解消と診療科維持においても厳しい現状があり、一層の連携を確保する。
- ② 人権教育の事務は総務課で担当し、人権学習講演会などを広く呼び掛けている。自治センターを中心に地域でも学習に取り組んでいただきたい。
- ③ 要望のあった箇所は、事業を実施している。緊急時に車両が入らないということではいけないので、現地を見ながら対応したい。
- ④ 災害避難場所での連絡がつかないようではいけない。電波が届かない場所の解消に努めたい。

久保

- ① 「健幸づくり」における、医師会や公立世羅中央病院と連携を密にし、安心の体制を築くとは。
- ② 「人づくり」の中で、人権教育は生涯教育として位置づけ、社会教育課で取り組むことが必要と考えるが。
- ③ 「安全安心づくり」の消防救急医療体制において、緊急車両がスムーズに入れない道路の整備は。
- ④ 災害時の避難場所である自治センター及び周辺の携帯電話の難受送信解消対策は。

平成29年度予算編成方針を問う

答 過疎計画の内容などを精査し、施策を着実に進める

久保

町長の所信表明で2期目の初登庁の際、職員に「現場主義を訓示した」と表明したが、平成29年度予算編成方針を各課長にどのように指示したのか。

町長

全般的な業務の中で現場主義を徹底する。何が課題か、解決はどうするかを町民目線で取り組もうと訓示した。
予算編成は、長期計画に沿って内容を精査し、効果的に事業を推進していくことを重点化し、着実に進められるよう指示した。

狩猟及び駆除の環境改善について

答 計画的に改善に努める

久保

① 猟友会及び鳥獣被害対策実施隊に対する制度の内容や手当を改善する考えはあるか。

② 町村会などで、猟期中も有害鳥獣駆除ができるよう、広域的な取り組みを提案し、個体数を減らしてはどうか。

町長

① 協議の場を設け、計画的に改善に努める。
② 猟友会・駆除隊の協力を得て、広域的な取り組みを協議する。

